

広報けいしちょう

新春号

【第114号】

令和8年

主な記事 **二セモノにだまされないで 警察官をかたる詐欺の手口と対策**

●コラム：警察学校紹介シリーズ 第3回 おいしいご飯 ●お知らせ：事件・事故は110番

**新年に
確認!****もしもの時の**

備蓄品

皆さんの家には、食料品や日用品などをもしもの時に備えてありますか？

30年以内に首都直下地震が起きる可能性は70%とされています。

電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなった場合に備えて、新年の家族が集まるこの機会に、備蓄について見直しましょう！

食料品は、最低3日分は用意しておきましょう

飲料水(1人1日3リットル)、レトルト食品、缶詰、アルファ化米 など

●日常生活で備蓄品を古いものから一部消費し、消費した分だけ買い足してストックしていく「ローリングストック」がおすすめです。

水が使えないときのために

携帯トイレ、ウェットティッシュ、ドライシャンプー、歯磨きシート など

●災害時給水ステーション(給水拠点)を事前に確認しておきましょう。

電気・ガスが使えないときのために

懐中電灯・ランタン、カセットコンロ、モバイルバッテリー、ラジオ、毛布、予備の電池 など

**携帯トイレを忘れない**

備蓄品で忘れていけないのが、携帯トイレです。凝固剤や吸水シートで処理する携帯トイレは、災害時も清潔な衛生環境を保ちながら使えます。あわせてトイレトーパー(1人1週間1ロール)やポリ袋なども備えておきたいです。最低3日分、家族全員分を用意しておきましょう。



他にも常備薬やベビー用品など、家族構成や年齢によっても必要なものが変わってきますので、家族で話し合ってみてください。
「4人家族3日分セット」というような商品も販売されていますので、検討してみましょう。

都民の皆様へ警視總監 **迫田 裕治**

あけましておめでとうございます。

都民の皆様には、清々しい新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、平素から警察活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年も警視庁では、目まぐるしく変化する社会情勢の中、昨年、全国での被害額が過去最悪となった特殊詐欺等、様々な犯

罪を敢行する匿名・流動型犯罪グループ対策、サイバー空間の安全確保、女性や子どもを犯罪から守るための対策、大規模災害対策など複雑化する様々な治安課題に対して、全職員が一丸となって、都民の皆様の声に真摯に向き合いながら緻密かつ適正な警察活動の実践を通じて、首都・東京の治安確保に力を尽くしてまいります。

あらゆる警察活動は、都民の皆様の信頼があって初めて有効に機能いたします。

引き続き、警視庁の活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、本年が健やかで充実した一年となりますよう、心から祈念いたします。